



追加事項

RT-5100-01

Symphony®標準搬送デバイス

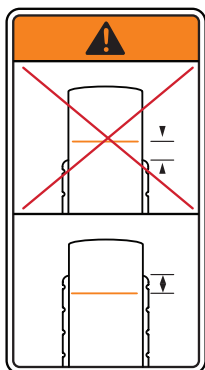
片持ち時の取扱説明書

操作方法

この追加事項は、特にSymphony®標準搬送デバイスを片持ち状態で使用する場合に適用されます。このコンテンツは、Symphony標準搬送デバイス製品ガイドおよび取扱説明書2007235を補足するものです。使用前に、この追加事項に加えて『製品ガイドおよび取扱説明書』をよく読み、理解してください。

その他の警告ラベルと説明

記号とその定義の一覧については、「Symphony標準搬送デバイス製品ガイドおよび取扱説明書 (PN 2007235)」またはQfix.comを参照してください。



片持ちに関する警告

！警告！SYMPHONY標準搬送デバイスを支持デバイスの端から片持ち状態にする場合は、オレンジ色の片持ち線を超えないようにしてください。患者の負傷や人身傷害が発生するおそれがあります。

患者を載せるときや降ろすときはデバイスが動かないようにしてください。適切なインデックスアダプターを使用することを強くお勧めします。



または



積載不可ライン

搬送デバイスの片持ち線より外側に立ったり座ったりすると、デバイスが損傷したり、怪我をしたりするおそれがあります。

その他の注意事項

！警告！SYMPHONY標準搬送デバイスは、片持ちの状態では使用できません。ただし、片持ち線とそれに関連する警告ラベルがデバイス上に存在する場合を除きます。

！警告！本デバイスを片持ち状態で使用する際は、患者の頭を片持ち部の方向に向けるか、片持ち部の上に配置する必要があります。患者がデバイスの端からはみ出さないようにしてください。

！警告！下になる支持デバイスまたは受入れ面が、搬送デバイス、患者、およびその他のデバイスの片持ち荷重を支持できることを確認してください。

追加の指示

1. 搬送デバイスを支持デバイス上で片持ち状態に配置します。指示ラインを超えた片持ち状態とならないよう注意してください。

！警告！患者を載せる前に、搬送デバイスを必ず所定の位置に設置してください。搬送デバイスを使用して、片持ち位置への患者の移動や、片持ち位置からの患者の移動を行わないでください。

2. 患者の搬送デバイスへの移動を補助し、患者が搬送デバイスの中央付近に座るよう誘導します。患者を仰臥位に回転させ、頭部を片持ち部の方向に向けるか、片持ち部の上に配置します。「警告ラベルとその説明」および「その他の注意事項」を参照してください。

3. 患者を降ろすには、患者を補助して、デバイスの片持ち状態となっていない場所に座らせてから床に降ろすようにします。

2007908_JA_A
2023-04

追加事項—2007908_Symphony Standard Transfer Device_JA

Qfix | 440 Church Road | Avondale, Pennsylvania 19311 USA | ☎ +1 484-720-6053 | 📠 +1 610-268-0588 | www.Qfix.com